

8/26 (木)

2010年(平成22年)

# 新潟日報

夕刊

題字 會津 八一

発行所 新潟日報社  
本社 〒950-1189 新潟市西区善久772-2

第24329号

緑の美しさをより多くの人に楽しんで  
もらおうと「ノルディック・ウォーク」  
を湯沢アウトドアセンターのメニューに  
取り入れています。

北欧でクロスカントリースキーの夏ト  
レーニングとして行われていたもので、  
優れた有酸素運動として国内でも愛好者  
が近年急増しています。

2本の専用ストックを持つてウォーキ  
ングをするのですが、最初は認知度も低  
く、人から「ちょっと変わった人」とい  
う見られたものです。

ストックの効果で身体の  
負荷が軽くなり、転倒防  
止にもなるため、運動不  
足の人やシニア層の運動  
としても効果が期待され  
ています。

ストックを持ってウォーキングするこ  
とができるない障がいもあります。しかし  
ポールを使って歩く人と、車いす常用の  
人が連れだつて旅行に来たときに、別々  
ではつまらないと思いませんか。  
もちろん車いすでは舗装されていない  
道の長距離移動は大変困難。そこで手助  
けするのがスタッフです。ノルディック  
・ウォークは「ストックというアダプタ  
ーを使う」と考えれば、「スタッフとい



## ユニバーサルウォーク

「アダプター」だつてあり。だから当セ  
ンターでは、障がいのある方も参加OK  
なのです。

障がいのある人がアウトドアを楽しむ  
ことは難しいことではありません。少し  
多くのアダプターが必要な場合があるだ  
けです。このような背景から、5月に湯沢  
町でウォーキング大会「越後湯沢ユニバ  
ーサルウォーク」を開催しました。コンセ  
プトはしばり「ユニバーサル=誰もの」。



500人弱の参加をいただきました  
が、その中には「アダプティブ」(障が  
い者)の参加もたくさんありました。2  
本のストックというアダプターを使うノ  
ルディック・ウォークを通して見えてき  
たのは、緑の季節を誰もが楽しめる「ユ  
ニバーサルウォーク」。

ごく普通のノルディック・ウォークに  
見えないあたり、やはり私は「ちょっと  
変わった人」なのかも。

稻治 大介 (NPO法人理事長・湯沢町)